

ニッセンケン煙台事業所 JIS L 1926 光吸収発熱性試験のご案内

ー 衣料の軽量化・自然エネルギーの利用はサステナブル貢献 ー

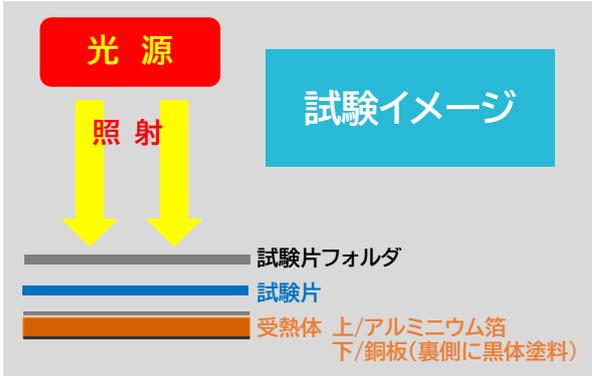
■機能性繊維で、消費者のより快適な衣生活を

消費者のより快適な生活の実現をめざして、高い技術による機能性繊維の開発が日々進んでいます。冬場の寒さ対策もその1つであり、主なものとして繊維自身による発熱の機能が挙げられ、【光吸収発熱性】は、繊維が太陽光などを吸収することで発熱し、着用者に暖かさを与える機能です。

冬場の衣類の軽量化が進むことで消費する資源の削減につながり、さらに繊維が自然エネルギーである太陽光を熱に変換する点で、サステナブルな要素を含んでいる機能性と言えます。

一般財団法人ニッセンケン品質評価センターは、中国・煙台事業所の試験設備を新たに拡充し、生産地・中国国内での機能性試験を短納期で実施できるようにいたしました。試験の詳細等については、煙台事業所までお気軽にお問い合わせください。

■【JIS L 1926 繊維製品の光吸収発熱性評価方法】について

試験方法	試験台から光源までの距離を 50 cm に設定し、光源の放射照度は $800 \pm 100 \text{W/m}^2$ に調整する。試験台開口部に受熱体、試験片、試験片ホルダの順に設置し、4カ所の開口部のうち少なくとも1カ所はブランクを設置する。 照射を始めて30分後に、受熱体裏面の温度をサーモグラフィーで測定する。 さらに場所と試験片を変え、開口部4カ所全てを測定し、その平均値を求める。	
試験結果	$\Delta T(^{\circ}\text{C}) = \Delta T_s - \Delta T_b$	ブランクの上昇温度(ΔT_b)と試料の上昇温度(ΔT_s)の差から、光吸収発熱温度差(ΔT)を算出する。
基準	ΔT が大きいほど光吸収発熱効果が高いと評価します。	
試料	試験ご依頼の際には $9 \times 9 \text{cm}$ の試験布を4枚ご用意ください。 (合計面積として、A4サイズ1枚程度の大きさでご提供ください)	

本リリースに関するお問い合わせ先

煙台事業所へお気軽にお問い合わせください。 お問い合わせフォームからお受けしています。

> [煙台事業所](#)

> [お問い合わせフォーム](#)